

令和7年度 治療論II 放射線治療を受ける患者の看護

) 氏名 ()

37 / 40 点

1 エックス線検査に関わる看護師の健康管理に必要なものを2つ選びなさい。(2点×2)

- 1) 線量計を装着する
- 2) ヨウ素剤を服用する
- 3) 被爆する線量の限度は5年間で5mSvである
- 4) N95マスクを装着する
- 5) 鉛を含んだエプロンを着用する (/) (5)

2 放射線療法について正しいものを1つ選びなさい。(2点)

- 1) Gyは吸収線量を表す
- 2) 主に非電離放射線を用いる
- 3) 電子線は生体の深部まで到達する
- 4) 多門照射によって正常組織への線量が増加する (|)

3 放射線防護の三原則について□の中から適切な語句を選びなさい。(2点×5)

- 1) 放射線暴露の(時間)を(短く)する
- 2) 放射線源と(距離)をとる
- 3) (遮へい)するために(防護具)を用いる

多く 少なく マスク 遮へい 時間 短く 長く 隔離 回数 距離 防護具

4 放射線治療を受ける患者の看護として正しい内容に○、間違っているものに×をつけなさい。(各1点×12)

- ① (×) 放射線治療は悪性腫瘍を対象とした治療だけで、症状緩和には効果がない
- ② (○) 治療前に放射線治療は痛みを伴う治療法ではないことを説明する
- ③ (×) 放射線治療を受ける患者は、必ず脱毛が出現するので、帽子やかつらの準備を指導する
- ④ (×) 放射線防護具(プロテクター、ネックガード、防護眼鏡)をつければ、放射線治療で照射中の患者のそばに付き添い、安全を見守ることができる
- ⑤ (×) 子宮がんや前立腺がんなど下腹部に放射線治療をする患者は下痢になりやすいため、高カロリーが摂取できる高脂肪食品の摂取を勧める
- ⑥ (×) 甲状腺がんに対する放射性ヨード(131I)内服治療は、通常は隔離して管理するが、内部照射療法であるため無理な場合は隔離せず、一般病床で管理することもある
- ⑦ (×) 口腔ケアは経口摂取の有無に関係なく実施するが、含嗽ができない患者には禁忌である
- ⑧ (×) 放射線の照射部位は感染予防のために皮膚を清潔に保つために、ゴシゴシと念入りに洗うように指導する
- ⑨ (○) 小児の放射線治療において、患者の理解が得られるようプリパレーションを用いたオリエンテーションを行う工夫が必要である
- ⑩ (×) 乳癌の放射線治療を受ける患者へ同居家族への被ばくに注意するように説明する
- ⑪ (○) 放射線診療に従事する看護師は血液検査、目や皮膚など定期的に健康診断を受けることが義務づけられている
- ⑫ (○) 母体内で放射線被爆を受けた胎児は、しきい線量を越えなければ奇形などの影響は出ない

6 次の文章を読み、①～⑥問いに答えなさい。(各2点×6)

Aさん(72歳の男性)は、妻と2人暮らしで子供はいない。お酒とたばこ、食べることが好きで、妻と毎日晚酌をしていた。Aさんは、1ヶ月前から飲み込みに違和感があり、声がかすれるようになった。近医を受診した結果、下咽頭癌と診断され、喉頭温存・下咽頭部分切除術を受けた。術後に補助療法として、放射線療法と抗がん薬療法を行っている。

① 下咽頭癌に対する放射線治療で正しい内容を2つ選びなさい。(各1点×2)

- A () 食事摂取困難が生じることもあり、治療前に胃ろうをつくることがある
- B () 治療期間は1週間である。
- C () 治療期間中は隔離できる個室で管理する。
- D () 化学療法と併用すると治療の効果が高まる。

② 治療中の生活指導で適切な内容に○を付けなさい。

- A () 脱毛が必ず起こるので、あらかじめ髪を短く切る。
- B () 倦怠感が出現したら、放射線治療を休んでよい。
- C () 痛みを伴う口内炎では含嗽は控える。
- D () 照射部位に直射日光があたらないようにする。

③ 治療中のAさんへの説明で正しいものを選びなさい。

- A () 「照射後は照射部位に冷湿布を貼りましょう」
- B () 「照射部位の皮膚は乾燥させておきましょう」
- C () 「皮膚のマーキングは消さないようにしましょう」
- D () 「入浴直後に照射部位を観察しましょう」

④ 放射線療法による放射線宿酔について正しい内容に○を付けなさい。

- A () 晩期合併症である。
- B () 食欲不振が出現する。
- C () 皮膚の発赤が特徴的である。
- D () 症状は1か月程度持続する。

⑤ 放射線治療が開始され、治療終了後に看護師がAさんに声をかけた。Aさんは「ベッドは硬いし、最後まで同じ姿勢でいることがとても苦痛です。大きな音がするので恐怖を感じます」と訴えた。この時の看護師の説明で正しいものを選びなさい。

- A () 「次回から照射中に傍につき添います」
- B () 「治療体位をとるための固定具を工夫してみます」
- C () 「照射時間を短くできるよう主治医に相談してみます」
- D () 「照射中に体位変換ができるよう放射線技師に相談してみます」

⑥ 放射線治療を開始した週末、Aさんは「頑張ったからおいしいものが食べたい。」と訴えがあり、妻が差し入れを持参した。治療中に、避けた方がよい食べ物を選びなさい。

- A () 形がくずれたさつまいもの煮物
- B () 冷たい喉ごしのよいプリン
- C () 喉ごしのよい辛いラーメン
- D () 温泉卵が入った温かいおかゆ

-2

(1) 以下の文章について正しい記述に○を、間違っている記述に×をつけなさい。

(1 問 2 点 小計 26 点)

1. () : Gy という単位は吸収線量を表す。
2. () : 放射線治療では主に非電離放射線を用いている。
3. () : 多門照射による放射線治療では正常組織への線量を減らすことができる。
4. () : 放射線障害の急性反応に皮膚炎がある。
5. () : X線単純写真検査で、脳出血の診断は可能である。
6. () : 確率的影響はしきい値がないと仮定するもので、癌や遺伝的影響が挙げられる。
7. () : 気管支喘息の患者は造影 CT の際に副作用(造影剤アレルギー)のリスクが高い。
8. () : 超急性性脳梗塞を診断するには、CT よりも MRI が適している。
9. () : 妊娠中に放射線検査を行った場合、被曝線量 100mGy 未満であれば人工妊娠中絶を考慮する必要はない。
10. () : 肝細胞癌に対する IVR 治療(肝動脈塞栓術)を受けた患者は、術後すぐに自分で歩いても良い。
11. () : 妊娠可能年齢の女性の場合は、X線検査の前に妊娠の有無を確認する。
12. () : FDG-PET 検査前は、絶食や運動制限が必要である。
13. () : MRI 検査は、CT 検査に比べ被ばく量が約 1/4 程度に少ないのが長所である。

38

- 2

MRI では、
線量が低いと知られて

(2) 放射線検査に関する看護師の健康管理に必要なものはどれか。正しい記述に○を、間違っている記述に×をつけなさい。(1 問 1 点 小計 4 点)

1. () ゴーグルを装着する。
2. () N95 マスクを着用する。
3. () 鉛を含んだプロテクター(放射線防護具)を着用する。
4. () 線量計をプロテクターの内側(男性は胸部、女性は腹部)につける。

(3) 放射線被曝を低減するための三原則について () に当てはまる言葉を記載せよ。(1 問 2 点 小計 6 点)

- ① X線透視を使用する (時間) を可能な限り短くする。
- ② X線透視を使用する検査の介助につく場合には、プロテクターを着用して、X線を (遮へい) する。
- ③ X線発生装置からの (距離) が遠い方が被曝線量は少なくなる。

(4) 乳房超音波検査を受ける女性患者への説明で正しいのはどれか 1 つ選べ。(小計 2 点)

- () 「検査前 1 食は絶食です」
- () 「乳房を器具で挟んで検査します」
- () 「仰向けで検査を行います」
- () 「侵襲性の高い検査です」
- () 「被曝する検査です」

(5) 乳房温存療法で放射線療法を受ける乳癌患者への説明で適切なのはどれか。1 つ選べ。(小計 2 点)

- () 「頭髮の脱毛が生じます。」
- () 「嚥下障害が予想されます。」
- () 「皮膚にマーキングを行います。」
- () 「同居家族への被曝に注意してください。」